

冬は寒く、雪は冷たい！だが、俺たちは熱い！！

令和7年版

とちぼりすもりじんじゃはだかおしあいたいさい

栃堀巢守神社裸押合大祭

期日 **令和7年2月8日(土)**

《毎年、2月の第2土曜日》

時間 **午後7時から午後8時30分まで**
(神事=午後6時20分から)

場所 **長岡市栃堀 巢守神社 (栃尾地域)**

＜参加・参拝見学のお問い合わせ＞

栃堀ふるさと交流会館 (栃堀区事務所)

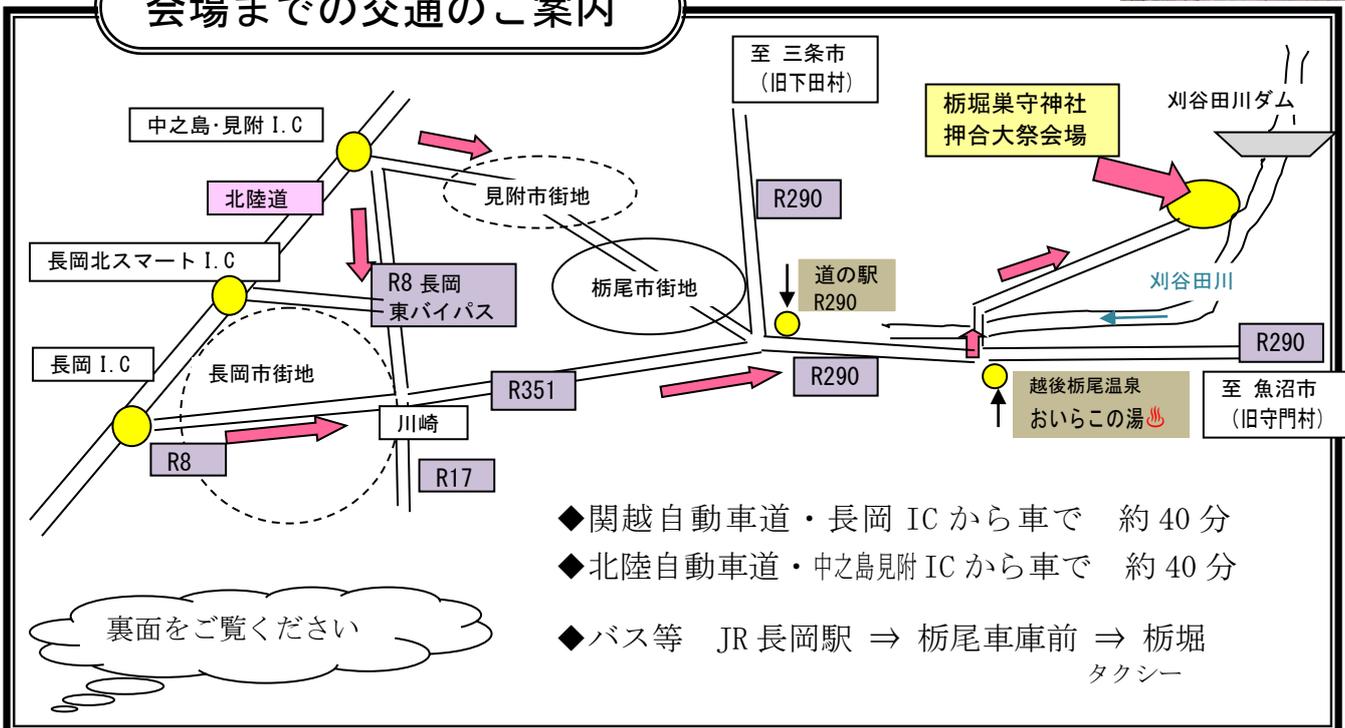
住所 新潟県長岡市栃堀4344番地

電話 0258(52)3521※

※平日の午前中 連絡可



会場までの交通のご案内



栃堀の巢守神社裸押合大祭のいわれは？

天正年間（1570年代）、戦国の武将、上杉謙信公が崇め奉った毘沙門天を栃堀巢守神社に祀り、戦勝祈願、五穀豊穰を願ったのが始まりと伝えられています。

南魚沼市浦佐の裸押合大祭と双子の関係で、御本尊の御神木は、同じ樺の木で作られていて、栃堀は根元の部分を、浦佐は木の上の部分を使ったと云われています。

下帯一本にワラジ履きの男衆が、20 kgの大ローソクを先頭に本堂になだれ込み、「サンヨ！（撒与）、サンヨ！」「押ッセ！、押ッセ！押ッセヤイ！」の掛け声とともに、ほてった体をぶつけ合います。その押し合いの最中に270枚の福札が天窓から撒かれ、それを奪い合う勇壮な祭りです。また、境内にある湧き水に体ごと飛び込む姿は、祭りをいっそう盛り立てます。祭り好きの方は、ぜひ、一度参加してみてください。年齢制限はありません。



撒かれた福札を懸命に奪い合う。ときには、はじかれた福札が、見物者の元に・・・その福札は、もちろん、見物者の戦利品です。押し合い終了後、景品と交換してください。

飛び込むべきか、それとも左足からそっと・・・かな？

押し合い、福札を奪い合って、ほてった体を境内の一角にある湧き水でお清め。厳寒期にもかかわらず、水を浴びる勇姿をぜひご覧ください。むしろ、見学者の方が、寒く感じているのかもしれませんが。地元では、この大きな1枚岩をくり貫いた石舟を「ハンド石」と呼んでいます。



ご参拝・見学者の皆様にも、福引、甘酒などを用意してお待ちしております。

【参加したい方へご案内】 ※詳しくは、お問い合わせください。

- ◆ 支度会場 栃堀ふるさと交流会館（栃堀区事務所）
午後6時頃から係員が支度のお手伝いをします。
※直接、支度会場にお越しください。受付があります。
- ◆ 用意するもの サラシ布半反（下帯）、わらじ、軍足（素足は危険です）、手ぬぐい
※当日、希望者には支度会場にて4点セット2,000円で販売しています。
単品販売もあります。

270枚の福札を終了後、支度会場で**全て品物と交換**します。福札の交換景品には、**特賞豪華商品券**、家電製品、ご利益金盃など盛りだくさん用意してお待ちしています。